# 新年のごあいさつ

理事長　上　野　浩　也

新春を迎え、心より新年をお祝い申し上げます。

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は当組合に対しまして格別のご指導とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も、コロナに始まり、コロナに終わった一年となりました。猛威を振るった第５波もようやく10月末ごろには底を打ち、年末にはようやく安心できる生活が戻ってきて、社会経済活動も活発に行われておりますが、11月末には新たな変異ウィルスが発見され、新たな脅威が迫りつつあります。コロナウイルスの影響で私たちの生活様式は一変しましたが、今後はウイズコロナ、アフターコロナを意識した新しい生活様式が求められるようになりました。また、コロナウイルスの影響で建設業に携わる私たちの事業も減少し、厳しい一年となりました。

さて、国保組合は国庫補助金の削減、組合員の減少により財政面では極めて厳しい状況が続いています。特に昨年も引続き医療費の増加が顕著であり、財政逼迫に拍車をかけています。今年の４月からは組合員の皆様のご理解を得て、５年ぶりに保険料の値上げを実施させていただくことになりました。保険料の値上げは国保組合の運営を安定的に維持することが可能ですが、現在のような医療費の増加が続くと近い将来、現在と同じ状況になってしまうことも見逃してはならないと思います。現在の国保によるサービスを継続するには何が必要か理事会で積極的に議論しております。一つ目の課題は、組合員の増強です。現在、組合員増強のため、全国国民健康保険組合協会と協議を進めており、五人未満の法人事業所が国保に加入できるよう国に働き掛けて行きたいと思います。各支部におかれましても引続き組合員の増強に取組んでいただきますようお願いします。二つ目の課題は組合員の皆様が健康に暮らしていただけるツールを提供させていただくことだと思います。組合員の皆様の健康維持を目的とした助成をはじめ、病気の予防や早期発見をするための半日ドック、定期健診、レディース健診等の各種健診を受診していただくサービスも維持していかなければならないと思います。言い換えれば、組合員の皆様の健康を維持継続することが、組合の財政の安定にもつながってくると思います。

今年も役職員一同、組合員とご家族の皆様が安心して暮らしていただける国民健康保険制度の維持に努めていく所存ですので、変わらぬご協力をお願い申し上げます。

結びに、組合員とご家族の皆様の今後益々のご繁栄を心より祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

理事長　上野浩也
副理事長　信吉秀起
〃　細川哲夫
〃　山中祥悟
コンプライアンス担当理事　森川賢悟
専務理事　藤原孝之
常務理事　西村義宜
理事　北澤佳明
〃　中村英明
〃　宮井龍三
〃　瀬戸建一
〃　西田稔夫
〃　平山範重
〃　田中正明
〃　足立孝之
〃　澤田明広
〃　豊嶋一俊
〃　白石典正
〃　松枝尚哉
〃　中村幸弘
〃　宮本佳幸
監事　益田進
〃　金田俊彦